

厚生省中央児童福祉審議会推薦 '91

作／S.G.コズロフ 翻訳／田中潔

ハリネズミと雪の花

「このままだと死んでしまう」ハリネズミが追い詰められたとき「逃げてもいいんだ。まずは自分の命の上に立とうよ」極寒のロシアで育った作者コズロフはハリネズミを逃がし、そして花のような奇跡も準備してくれました。

小さな人形たちが語りかけます。

「♪座ろうちょっとだけ座ろう。休んでから立ってお客様を呼びましょう♪」

演出／山根 裕子

美術／山根 恵子・山根裕子・大澤 直

音楽／足立 裕子

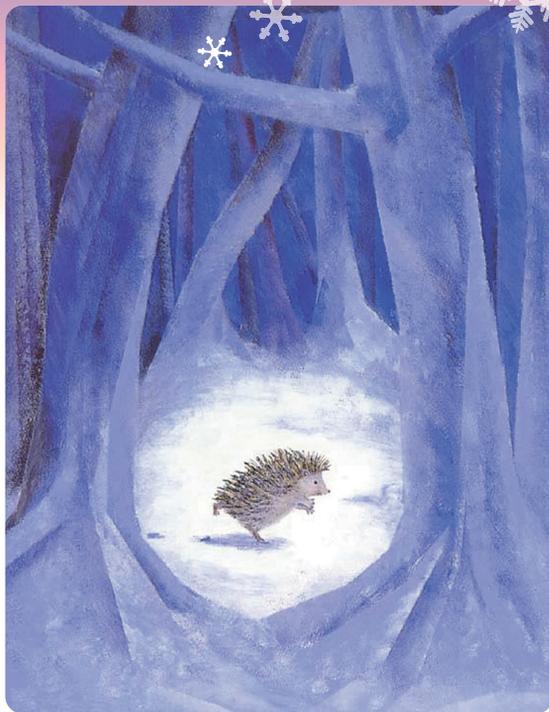
照明／丸山 昌彦

オペレーター／相川 麻衣

キャスト／ハリネズミ：永野 むつみ

きつつき先生：大澤 直 こうさぎ：花岡 沙織

くま：新堂 雅之 うさぎ：戸前 優子



◎ 誰も見たことのない花を捜しに！◎

明日は新年の前のお祝いの日。くまくんは高熱を出してしまいます。病気を治すことができるのはこれまで誰も見たことのない「たのし草の花」だけだと聞き親友のハリネズミは雪の森へ飛び出します。ハリネズミは途中で出逢った木々の助けによって、冷たい泉の底に花を見つけ何度も飛び込み花を探ろうとしますが、「このままだと自分も死んでしまう」、ハリネズミは泣きながら逃げ帰るのです。

作者のセルゲイ・コズロフは1939年モスクワ生まれ。1962年以来30冊を超える作品集を出し、その多くが劇やアニメーションになっています。ロシアでは人気のある作家のひとりで、日本でもよく知られているのはノルシュテイン監督の『霧につつまれたハリネズミ』です。この「ハリネズミと雪の花」は人形劇のために書かれたものです。ストーリー、美術ともにとてもシンプルで俳優の手が人形の体じかに入っている暖かさや親しみやすさに加え、幻想的な美しさにあふれた舞台です。



人形劇団
ひぽぽたあむ

人形劇団ひぽぽたあむの人形劇はおもに片手使いの人形で演じられます。俳優は衝立の後ろに隠れていて、観客の皆さんには人形しか見えません。人形は演技者の技と観る人の想像によって生き生きと動き出します。生の人間ではない「人形」だからこそかえって人間の世界を深く描きだすことが可能になります。私たちはそこに人形劇ならではの世界があると信じています。